



城下町に春の訪れを告げる5日間 勝山のお雛まつり2018



風情ある町並みに多くの人が訪れました



歴史ある雛人形の話に興味津々



スタンプラリーで祭り会場を楽しく回遊

まにわ 真庭

まちの話題

3月1日から5日間、勝山町並み保存地区と新町商店街一帯で、「勝山のお雛まつり」が開かれました。地域住民などで組織する実行委員会が開催し、今回で20年目です。風情ある町並みと地域住民やボランティアの温かいもてなしが好評で、今年も県内外からの多くの観光客が来訪。民家や商店など約160軒の軒先に飾られた江戸や明治時代から代々伝わる雛飾りや手作りの創作雛を眺めたり、写真に収めたりして楽しんでいました。

3月3日と4日、北房農泊モニターツアーが行われました。今回が5回目で6人の外国人モニターが参加。野菜の収穫や調理といった田舎の生活体験のほか、6月のホテルシブンの誘客につなげることを目指し、備中川の河川清掃などホテルの里づくり活動が盛り込まれました。北房農泊推進協議会では、これまでのモニターツアーで出た意見をもとに滞在型の田舎体験ツアーの商品化に取り組んでいく予定です。

地域住民と交流しながら 北房農泊モニターツアー



ニンジン収穫する参加者ら



特徴や食べ方について熱心に話を聞く参加者

2月22日、勝山文化センターで、野草研究家の山下智道さんによる薬草教室と薬草料理教室が開かれ市内外の37名が参加しました。教室は身近で採れる薬草の魅力を知ってもらおうと、富原地域振興協議会が企画。講義では山下さんが春の七草の薬効や特徴などについて紹介し、実習では参加者が富原婦人林業研究クラブの協力のもとハコベやノビルなどを使った薬草ギョーザなどを作り、薬草の香りや味を堪能していました。

身近な薬草の魅力を知って 薬草教室と薬草料理教室

2/21 社のボランティアガイドが授業

湯原地域の子どもたちに社の歴史を知ってもらうため、「中世式内八社ボランティアガイド」が湯原中学校の3年生に歴史の授業を行いました。生徒たちは散策マップなどを手に、説明に聞き入っていました。



2/23 秘密の食材フェア in 真庭

真庭リバーサイドホテルで美甘のヒメノモチやアマゴの卵瓶詰め、富原のお茶やこんにゃくなどの特産品を紹介する「秘密の食材フェア」が開催されました。市内20団体から約50品の出品があり賑わいました。



2/25 第7回真庭市親睦まにわ合戦

白梅総合体育館で真庭市親睦まにわ合戦が開かれました。選手たちは相手チームの選手が投げる球に当たらないように前進し、敵陣の旗を狙います。スピード感のある攻防戦に、子どもも大人も熱中しました。



3/3 15人のひ孫の成長を楽しみに

松尾菊江さん(大庭)が3月6日に百歳を迎えられました。数年前まで野菜づくりもされていた松尾さん。今は15人のひ孫の成長と誕生日や行事ごとにお祝いをするなどを楽しみに、毎日元気に過ごされています。



3/13 編み物の作品で周囲を笑顔に

黒田恵美子さん(吉)が3月30日に百歳を迎えられます。手先が器用で編み物が得意という黒田さん。人が使わなくなった毛糸の編み物をほどいて新しく編み直し、使って喜んでもらうことが楽しみと話されました。



目の前のゴールを目指して突き進む

3月4日、第41回美作地区スポーツ少年団サッカー交歓会が開かれ、汗ばむ陽気の中、男女計21チームが熱戦を繰り広げました。宮芝グラウンドで開催した男子の部では16チームが2つのブロックに分かれ優勝を争い、勝山、久世、北房が上位入賞。真庭やまびこスタジアム多目的グラウンドで開催した女子の部では5チームがリーグ戦と決勝戦を行い、市内選抜選手による「真庭女子」が準優勝を果たしました。

この1年の練習の成果を
第41回美作地区スポーツ少年団サッカー交歓会



丸太の立派なベンチが完成

3月9日、樫西地内のガレキ処分場付近にある「どんぐり広場」で、ベンチ作りが行われました。地元有志で構成された「樫邑遊び隊」の呼びかけで集まった人たちは、地元の木材事業者から提供された杉の丸太4本を加工してベンチを作り広場に設置。作業後は、大人も子どもも、のびのびと自由な時間を過ごしました。遊び隊では今後、広場を活用した遊び場づくりや居場所づくりに取り組むこととしています。

樫邑に新しい遊び場
どんぐり広場で遊ぼう

発酵蔵散走



4月30日(月・祝)

START >> 10:00 GOAL >> 15:30

料金 4,500円 定員 15名

集合場所 中国勝山駅

歴史ある勝山・久世の町並みをめぐりながら、酢味噌醤油蔵・酒蔵を見学させていただきます。職人さんの技と情熱に触れ、なつかしい気持ちになれる特別な旅。



チーズ×ワイナリー散走

① 5月13日(日) ② 5月20日(日)

START >> 10:00 GOAL >> 15:30

料金 4,500円 定員 15名

集合場所 レストラン白樺の丘

雄大な蒜山高原の風を感じながら、人気のチーズ工房や山葡萄のワイナリーをめぐります。走った後は温泉でリフレッシュ! 周辺にはホテルやレンタサイクルもあります。



外国人が案内する日本の田舎散走

6月9日(土)

START >> 15:00 GOAL >> 18:30

料金 4,500円 定員 15名

集合場所 真庭市北房振興局

日本の田舎っていいですね! 北房にやってきた外国人が発見した田舎の魅力をのんびり楽しみましょう。外国人のお客様、大歓迎です。



まにわ 真庭で 散走サイクリング 2018

散走とは...

自転車の新しい楽しみ方

『自転車で走ること』が目的ではなく、『自転車を利用して』見たり食べたり探したりすることを目的とした、新しい自転車の楽しみ方です。真庭の魅力が詰まったプログラムを、いっしょに体験しませんか。



申込締切

各プログラムとも催行日の10日前まで

申込方法

- ①市役所や各振興局、もしくは市内観光施設などにある申込書に記入の上FAX
- ②webサイトの申込フォームから申し込み

【お申し込み・問い合わせ先】

一般社団法人 真庭観光局

Tel. 0867-45-7111 Fax.0867-45-7112

〒717-0013真庭市勝山654

E-mail : maniwa@jupiter.ocn.ne.jp

Web : http://www.e-maniwa.net/



市外から転入して来られて市内の高校のことを良く知らない方、まだお子さんが小さいご家庭、そして地域の様々な年代の皆さんにも、各校の魅力や地域内外で活躍する生徒の皆さんのことをもっと知って応援していただきたい。そういう思いで各校を魅力をそれぞれの生徒さんの記事と写真で紹介する別冊号を発行しました。ご協力いただいた各校の生徒の皆さん、大変ありがとうございます。升本



広報紙の担当になって1年が経とうとしています。皆さんの素敵な笑顔を撮ろうと心に決めて、カメラを持って市内のあちこちに出かけましたが、先月号までの11カ月間、私の写真が表紙を飾ることはありませんでした。写真って難しいものですね。ところが4月号は特集テーマが「観光地域づくり」だったことで、たまたま撮影していた農泊ツアーの写真を表紙にすることができました。 嶋田

まにわのスキップ!! 編集後記